



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

出せば入る

2018年9月6日15時7分に北海道胆振(いぶり)東部で、M 6.7、震度7という大きな地震が発生し、多くの方が亡くなり、各地で深刻な被害を出しました。北海道全体が停電するという前代未聞ともいえる状況になり、今も、完全には復旧していません。謹んで哀悼の意を表します。

先週、お知らせしました「まほろば研究会」は、前日になって急きょ旅程を伊勢方面中心に変更して、開催しました。集合場所にしていただいていた関西空港は今も一部を除いて動いていません。このようなトラブルの中で開催できたことでより深まった絆に感謝します。

さて、今日は「出せば入る」経営について話したいと思います。

巷間、「金は天下の回りもの」と言います。江戸っ子は「宵越しの金は持たない」という威勢の良さを今に伝えていますが、これは、江戸の庶民がお金を持てなかったのも、そのやせ我慢だと聞きます。

今は、逆に、皆が老後の心配をして貯金に精を出し、いつ起きるかわからない病気や事故の不安に備えて蓄えて、必要最小限のお金しか使わないとなれば、経済に活気がなくなり、店舗が販売不振で立ち行かなくなり、メーカーは操業不振で閉鎖せざるを得なくなります。そこで働いていた社員は職を追われ、路頭に迷うことになります。そして、世の中は次第に荒れてゆき、大変な事態になります。税金が上がるので、さらに将来不安が増幅し、使わない、貯め込

む人が増えてゆきます。意欲も減退してゆきます。悪循環がさらなる悪循環を呼び、デフレは一層進んでゆきます。日本人の美德が消えて行くぐらい、世の中が混乱するかもしれません。

「出せば入る」という考え方は、逆説的かもしれませんが、感覚的に、正しいと考えています。質素・儉約することとお金を使わない事とは違います。金は天下の回りものになるためには、出さないと回りません。呼び水があって初めて回り出すのです。二宮尊徳の「たらいの水」の説話のように、たらいの奥にあるものをこちらによせようとすると、水を送ってやらねばなりません。水を手前に掻いている間は、奥にあるものはじっとして動きません。ややもするともっと奥の方に行ってしまう。

財布の許す限り「出せば」、想像以上のものが「入る」のです。売上高や利益だけでなく、社員の定着であったり、ロイヤリティであったり、社員の意識の高さであったり、お客様へのおもてなしであったり。しかも、自発的に、自主的に行動する社員が増えてきます。

F社は、勤続5年で、20万円、勤続10年で30万円の旅行をプレゼントしています。同僚の目を気にせず堂々と有給休暇をとって、家族と旅行に行けるのは最高に素晴らしいことで、生涯忘れることのない思い出になります。しかも、行き先も自由、誰と言っても自由、レポートも不要です。もちろんプラスアルファして豪華にするのも自由です。モチベーションが上がらないはずはありませんし、今まで以上に力を発揮してくれます。さらに、定着も圧倒的によくなりました。

R社は、夢を実現するプロジェクトをやっており、社員の夢を応援しています。その夢を

実現するために必要な時間と費用はすべて会社が負担しています。夢は「いつか叶えばいいな」ではなく、できるだけ具体的に「夢を叶える」ことが人生にとって大事だという考え方で。その結果、会社の活性化が図られ、業績が向上してゆきました。

Y社は、30年以上前から、毎年全社員を連れて海外研修旅行に行きます。パスポートを取得するところから、夢が膨らみ、思う存分旅行を満喫した後は、仕事に精を出して、頑張ってくれます。愛社精神も高まります。数日間の休業が必要ですので、お客様に理解を得ないといけません。トップの人となりや考え方を知っておられるので、協力していただけるそうです。

I社は、苦境を乗り越え、業績が向上し出すと、今まで年2回出していた賞与を、四半期ごとに出すようになりました。原資は四半期業績によりますが、一定以上の基準を満たせば、支給しています。

さらに定期的な新入社員採用も軌道に乗り、組織が活性化し、若い社員の頑張りが会社を引っ張るようになってきました。売上高が減収になっても増益になるような意識の高さが出てきました。

経費削減で注意しないとイケないのは、「貧すれば鈍する」ことです。倹約を通り越して、吝嗇になると、もういけません。コストパフォーマンスを高めようと思えば、「出す」ことです。特に、トップの考え方や理念や哲学が、これとマッチした時、大きなものが入ってきます。

「出せば入る」経営を実践しませんか？

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014

那覇市松尾 1-18-22 8階

TEL098-864-0331

FAX098-860-3416

Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478

京都市北区大宮釈迦谷 4-10

TEL075-334-5105

FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！
お電話ください。 098-864-0331